

## 和歌山病院での実習を終えて



中村 仁美

2017年6月に和歌山病院で地域研修という事で、1ヶ月研修させて頂きました。もともと呼吸器疾患に興味があり、他院でも呼吸器内科の研修はしていましたが、結核は和歌山病院に紹介することが多いのが現実でした。自分自身で結核の診断から治療を経験させて頂きたくて、和歌山病院を選択しました。今まで教科書や学生時代の講義で、結核の勉強はしていましたが、治療だけでなく、診断までの経緯や、提出が必要な書類などについても、再度学ばせて頂きました。

選択した時は、病棟業務がメインだと思っていたのですが、新患外来も担当させて頂きました。今まで救急外来で来られた患者さんを診る事はありませんでしたが、一般の外来は初めてで、大変有難い経験でした。問診結果や身体所見、検査結果を、先生方に相談させて頂きながら、外来での適切な治療、今後の方針について、実際の診療の中で学ばせて頂きました。

病院全体がアットホームな雰囲気、院長先生をはじめ、諸先生方、看護師さん、検査技師さん、医局秘書さん、様々な職種の方に大変お世話になりました。また、病院のBBQやボーリング大会にも参加させて頂き、仕事以外でも可愛がって頂きました。

至らぬ点も多く、ご迷惑をかける事も多々あったかと思いますが、とても充実した研修生活を送る事が出来ました。和歌山病院で学んだ事を忘れずに、今後の研修も頑張りたいと思います。関わってくださった皆様、1ヶ月という短い間でしたが、有難うございました。